

## 2019年入試予測【神奈川県 女子校】

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
フェリス	横浜市	入試の変更点はなし。横浜女子御三家の一角。模試の希望者数は増えているが、すでにかなりの高難度なので、これ以上難化することはなさそう。
横浜雙葉	横浜市	入試の変更点はなし。横浜女子御三家の一角。模試の希望者数に目立つ変化は見られず、例年並みの難度が続きそう。
横浜共立A・B	横浜市	入試の変更点はなし。横浜女子御三家の一角。模試の希望者数に目立つ変化は見られず、例年並みの難度が続きそう。
捜真	横浜市	一部の入試内容で日程に変更はあるが、模試の希望者数に目立った動きはない。各回次とも2018年並みの難度になりそう。
横浜女学院	横浜市	2018年の入試でコース設定や授業のボリュームアップなど大幅な改革を行い、応募者が大きく増えた学校。2019年は入試に変更点はないが、高い人気が続いていて、中堅の学力層を中心に模試での希望者は増加傾向。目立って難化することはなさそうだが、合格ライン付近は少し厳しくなる可能性もある。
神奈川学園	横浜市	入試の変更点はなし。模試では特に2月2日のBで高学力の希望2018年並みの難度になりそう。Bと4日のCはやや難化するかもしれないので、注意した方がよい。
聖ヨゼフ	横浜市	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
洗足学園	川崎市	帰国生の入試日程をずらすのが、曜日の関係によるもの。かなり難化が進んでいて、2019年に向けてはさらに学力上位で志望順位が高い希望者が増えている。やや難化する可能性が高く、要注意。
カリタス	川崎市	帰国生入試を2月1日以降の通常の入試の中でも実施することにしたが、目立った変更ではない。希望者が少し増えている模試もあるが、通学エリアが東京・調布市に新設開校となるドルトン東京学園と重なることから、両校を併願する動きも見られる。各回次とも難化することはなく、2018年並みの難度が続きそう。
日本女子大附属	川崎市	入試の変更点はなし。模試の希望者数は増えている、特に2月3日の2回は学力上位の希望者の増加が目立つ。1日の1回は少なくとも2018年並みの難度、2回は少し難化するかもしれない。注意した方がよい。
鎌倉女学院1次・2次	鎌倉市	横浜共立の動きに合わせて2次を2月4日から3日に移す。模試では希望者数に目立つ変化は見られない。1日の1次、3日の2次とも2018年並みの難度になりそう。

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
清泉女学院	鎌倉市	2月3日の入試を午前から午後に移し、英語選択は1日午後から3日午後に移す。模試では希望者が増加傾向。併願受験が多い1日午後は難度に目立つ変化はなさそうだが、1日午前と3日午後はやや難化可能性もあり、気をつけた方がよさそう。
鎌倉女子大	鎌倉市	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
北鎌倉女子	鎌倉市	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
聖セシリア	大和市	2月3日午後のA3次を2科4科選択から2科のみとする。模試では特に人気に変化は見られぬ、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
相模女子大	相模原市	2月1日午前の1回を2科4科選択から2科またはプログラミングの選択とし、同日午後の2回を2科から2科4科選択に変更。模試では希望者数にあまり変化は見られず、各回次とも2018年並みの難度が続きそう。
湘南白百合	藤沢市	変更は、帰国生の入試を1日早めるだけ。近年、以前よりは少し入りやすくなっていたこともあって、模試では中堅の学力層の希望者が少し増えている。このまま推移すれば、応募者は増えて合格ライン付近はやや厳しくなるかもしれないが、難度そのものはあまり変わらない入試になりそう。
聖園女学院	藤沢市	一部の入試の定員設定を変更するが、入試情勢には影響はない。模試では中堅の学力層を中心に希望者が増えている。各回次とも目立って難化することは考えにくい、合格ライン付近はやや厳しくなるかもしれない。
緑ヶ丘女子	横須賀市	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
聖和学院	逗子市	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
函嶺白百合	足柄下郡箱根町	入試内容を一部変更するが、入試情勢への影響はない。人気に目立った動きはなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。